

# 釜ヶ崎解放 62

T557 大阪市西成区萩之茶屋2丁目5-23 釜ヶ崎解放会館内  
釜ヶ崎日雇労働組合  
電話 06-632-4273

## 4・21宝塚市生きうめ労災事故死糾弾 5・12・19の斗いから、手抜き工事の張本人「宝塚市・市橋組」へ だん二攻めのぼれ、昨日、宝塚市に再度事前交渉を確認す

仲固たち、5月29日、4月21日の宝塚市のつ名の仲固の手抜き工事による生きうめ事故死の張本人の片側である元請・市橋組に対して、申し入れをもう二回した。

宝塚市に対しては、5月14日の事前交渉（大衆団交の設定）についてを拒否し、話し合いの場から逃亡した責任を追及し、昨日、再度事前交渉を確認させた。しかし、市当局は「ちんとしか合わない」とくり返してつづけている。

宝塚市・市橋組を逃がさず、今回の手抜き工事による仲固の死に対してキッチリと責任をとらせるまで、だん二として斗いぬこう。

### 申し入れ書 市橋組 展設

全国日雇労働組合協議会・釜ヶ崎日雇労働組合

去る4月21日に、貴社の請負工事である、宝塚市発注の市宮長尾山霊園の雨水排水の埋設工事において、下請・徳山組の配管工である金さんと、尼崎にある人夫出し「業者」である——から日雇労働者として働きにきていた関さんが、崩れた土砂の生き埋めになって死亡した事故について、以下申し入れを行います。

当組合は、大阪市西成区（通称・釜ヶ崎）において、主に建設業に従事する日雇労働者で組織している労働組合です。4月21日の、事故当日、死亡した関さんを含めて5名の日雇労働者が、——から貴社の長尾山霊園の現場で働いており、また、4月始めから始まったその工事においては、すでに数十名の日雇労働者が働いていたことが、数々の調査によって明らかになっています。——は、釜ヶ崎に手配に来ている「業者」であり多くの釜ヶ崎の日雇労働者が、貴社の長尾山霊園の現場に働きに行っていたのは明らかです。

当組合は、アジアからの「出稼ぎ」労働者の仲間も含めて、全ての日雇労働者の命を守る立場から、労働者の危険を考えず、3mの穴を掘りながら矢板を当日入れていないという、安全対策上もっとも重大な手抜き工事を行って、2名の貴い労働者の命を奪った貴社に対して、強い怒りを覚え、以下の事項を強く申し入れる次第です。

- 〔申し入れ事項〕
- 一、建設現場で働く日雇労働者の労働組合である当組合と、今生き埋め労災死亡事故に関する大衆団交を、下請・徳山組を出席させて行い、その場で事故の真相と責任について明らかにし、安全対策の改善を具体的に確約すること。
  - 一、死亡した金さん、関さんの遺族に対して、責任ある補償を行うこと。
  - 一、以上のことが行われるまで、長尾山霊園の工事の再開を行わないこと。
  - 一、以上の申し入れ事項についての回答を、6月3日までに当組合に行うこと。

以上。 1989年 5月29日

（連絡先）大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 釜ヶ崎解放会館2階

TEL 06 (632) 4273